

## 基本目標 2 誰もが健康で、いきいきと暮らせるまち



「野菜や果物いっぱいの八千代町！」  
安静小 青木 妃愛さん

### 【基本目標2の施策体系】

- 2-1 豊かな人生を支える健康づくり
- 2-2 体とところを守る地域の保健・医療
- 2-3 みんなで支え合う地域福祉
- 2-4 住み慣れた地域で暮らせる高齢者福祉
- 2-5 地域で共に生きる障がい者・障がい児福祉
- 2-6 安定的な社会保障制度の運営

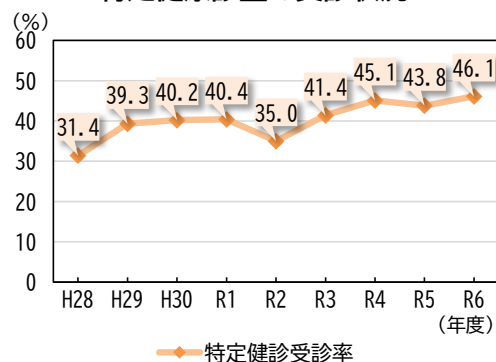
## 2-1 豊かな人生を支える健康づくり



### 現況・課題

- 本町においては、特定健康診査をはじめ、各種予防接種、健康相談、体操教室など、町民の健康づくりを推進しています。
- 特定健康検査の受診率を見ると、コロナ禍の一時低下を経て上昇傾向にあるものの、5割に達していない状況です。
- 今後は、人生100年時代の到来を目前にひかえ、生活の質を考慮した「健康寿命」を延ばすための取組を地域全体で進め、町民の豊かな人生や生活の質の向上を図ることが必要です。

特定健康診査の受診状況



【出典】国保年金課

### 基本方針

ライフステージに応じた健康づくりや食育、疾病予防・重症化予防などに取り組み、町民一人ひとりの豊かな人生や生活の質の向上を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
健康寿命の延伸	男 78.6 歳 (R6 年) 女 83.6 歳 (R6 年)	男 79.8 歳 (R11 年) 女 84.9 歳 (R11 年)
特定健康診査受診率	46.1% (R6 年度)	60.0% (R11 年度)

### 取組施策

#### ① より良い生活習慣づくりの啓発

- ライフステージに応じた健康づくり教育や健康教室など、生活習慣の改善に向けた啓発を展開し、町民の健康意識を高めるとともに、特に学童期・青年期など若い世代への健康づくりの強化を図ります。
- 乳幼児から高齢者まで食の大切さへの理解を高めるため、食生活改善推進員などと協力し、望ましい食生活の啓発、情報提供、各種教室の開催に取り組みます。

- 喫煙や受動喫煙、飲酒などによる健康への影響について引き続き情報提供を行い、意識の啓発を図ります。

## ②健康づくり推進体制の強化

- 健康づくりに取り組む団体の育成・支援を行い、町民の主体的な健康づくり活動を促進します。
- 食を通じた心と身体健康づくりを進めるため、食育推進会議を設立し、更なる食育の普及活動に取り組みます。
- 保健センターを中心に、各種団体と連携・協力しながら、社会環境の変化や年齢層に応じた健康づくりに取り組みます。

## ③疾病予防の推進

- 高血圧・糖尿病といった疾病の予防について、各種団体や地域等と協働し、SNSなどを活用しながら予防の普及に取り組みます。
- 乳幼児からの食育、生活習慣病予防について、離乳食教室・乳幼児健診等の機会やSNSなどを活用して情報発信に取り組みます。

## ④早期発見・早期治療による重症化予防

- 町民ニーズの把握に努め、各種健康診査・がん検診等の総合的な受診環境の向上を図ります。
- 特定健康診査やがん検診などの受診率の向上に向け、町民目線に立ったPR活動を展開し、若い世代に対してはSNSの活用など、様々な媒体の活用を推進します。
- 各種健康診査の結果や健康管理データを活かし、本町の健康課題を抽出し、地域全体の健康づくり（ポピュレーションアプローチ）を図ります。
- 各種予防接種を勧奨し、感染症の拡大や重症化を防ぐための接種率向上を図ります。
- 検診結果を活用し、精密検査未受診者への受診勧奨など、重症化を未然に防ぐ対策に取り組みます。



「親子お菓子づくり教室」の開催

- 【関連計画】
- ・ 八千代町健康増進・食育推進計画（R8～R19年度）
  - ・ 八千代町国民健康保険保健事業総合計画（R6～R11年度）

## 2-2 体とところを守る地域の保健・医療



### 現況・課題

- 本町は、町ホームページ等で小児輪番病院や休日在宅当番医、茨城県救急医療情報ポータルサイトなどの情報を提供し、救急医療体制の充実を図っています。
- 母子保健・児童福祉両機能の一体的な相談支援を行う機関として、令和5年度から「こども家庭センター」を設置しています。
- 令和5年度に自殺対策計画を策定し、保健・医療・福祉・教育等が連携して相談支援に取り組んでいます。
- 町民に身近な地域医療体制を充実させるため、町内医療機関との連携により、かかりつけ医制度の普及や定着に向けた取組が必要です。



親子リトミック教室（リズム遊び）

### 基本方針

地域医療体制及び救急医療体制、母子保健、こころの健康づくりなどの充実を図り、町民の体とところを守る地域の保健・医療体制づくりを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
3歳児健診受診率	95.7% (R6年度)	100% (R11年度)
幼児の虫歯罹患率（3歳）	15.9% (R6年度)	15.0% (R11年度)

### 取組施策

#### ①地域医療体制の充実

- 町民が身近で安心して適切な医療を受けられるよう、「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」の普及や定着に向けた啓発を図ります。
- 地域医療を担う町内医療機関との連携を図り、身近でより適切な医療を受けることができる体制づくりを進めます。

## ②救急医療体制の充実

- 近隣市町との連携を強化し、小児輪番制医療、休日当番医などの広域的な救急医療体制の充実を図ります。
- 夜間や休日の救急医療体制の情報を発信するなど、適切な受診方法の啓発を図ります。

## ③母子保健の充実

- 妊産婦の健康の保持増進、疾病の早期発見のため、引き続き、妊娠・産後に医療機関で、妊産婦健康診査を実施します。
- 「こども家庭センター」を拠点に、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図り、各種健診や育児相談を通して、ニーズに応じた子育て支援を進めます。
- 乳児家庭訪問や乳幼児健診、子育て支援事業を通して、母子の孤立防止、虐待予防、食育の推進などを図るとともに、子育て中の保護者や子どもたちが健やかで安心した生活が送れるよう育児支援に取り組みます。
- 認定こども園・幼稚園・保育所や学校などと連携を図り、フッ化物洗口、歯磨き教室や食育の推進などを通して歯科保健を推進します。

## ④こころの健康づくりの推進

- 町民の誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、引き続き町や関係機関が連携して取り組むとともに、職員間においても研修を実施し、一人ひとりの大切な命を支え合うことを理解するよう取り組みます。
- 引きこもりやこころに問題を抱えた方への支援を行うとともに、こころの健康づくりについて町民の理解を深めるため、講演会を開催します。
- 妊娠時や出産後の面談・訪問などにより、マタニティブルーや産後うつなどの早期発見に努め、引き続き必要な支援につなげます。

## ⑤食の安全確保

- 食品衛生に関して、ホームページや広報紙等での情報提供により、町民への食中毒予防等の周知や事業者への啓発を強化します。

【関連計画】 ・ 第2次八千代町自殺対策計画（R6～R10年度）

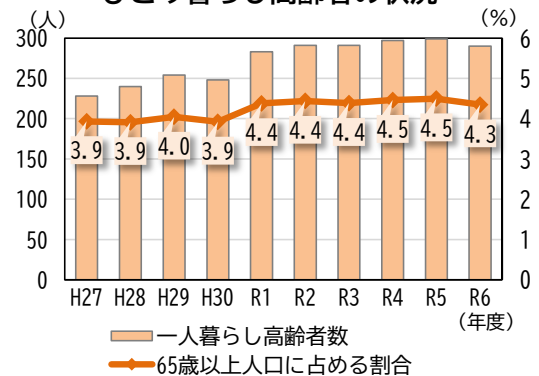
## 2-3 みんなで支え合う地域福祉



### 現況・課題

- 本町では、家に閉じこもりがちな高齢の方、障がいのある方、子育て中の方などが、自宅から歩いて行ける公民館等に気軽に集い交流できるよう、「ふれあいきいきサロン」の設置を進めています。
- 社会福祉協議会では「ボランティアセンター」を設置し、ボランティアの登録や紹介、支援などを行っているほか、ご近所同士での声かけや見守り活動などを行う「ご近所声かけ隊」の活動を促進しています。
- 地域コミュニティの希薄化や、地域福祉の関連団体や町民ボランティアの高齢化が課題であり、新たな地域福祉の担い手の育成が必要です。

ひとり暮らし高齢者の状況



【出典】福祉介護課

※一人暮らし高齢者：台帳登録者のみ

### 基本方針

地域の福祉体制づくりや福祉のまちづくり、災害時の助け合いを推進し、年齢や性別、国籍などを超えて互いに支え合う、地域共生社会の実現を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
ボランティア登録団体数	5団体 (R6年度)	7団体 (R11年度)
ご近所声かけ隊登録数	13人 (R6年度)	30人 (R11年度)

### 取組施策

#### ①地域で支え合う福祉体制の構築

- 地域での支え合い、助け合いの意識を育むため、町民が福祉や地域福祉について学ぶ機会が得られるよう、各種講座等を開催するとともに、町内の小中学校との連携を図り、福祉教育を進めます。
- 地域における世代間の交流、文化の伝承、スポーツ・レクリエーション活動などを促進し、地域コミュニティの充実を図ります。

- 住民同士が交流できる、健康や生きがいづくり、多世代交流、就労、子育て支援、サロン等の多様な活動や居場所づくりにより、新たなふれあいや繋がりの創出を進めます。
- 社会福祉関連団体や町民ボランティアの活動を支援し、地域での福祉活動の活性化を図ります。
- ボランティア養成講座などを通じて地域福祉の担い手となる人材の育成を図るとともに、ボランティアセンターの登録促進や相談対応を充実し、担い手の確保を図ります。
- 関係機関と連携し、身近な地域での相談体制を充実するとともに、福祉サービスの充実、情報提供や、包括的で専門的な支援につなげる仕組みの構築を図ります。

## ②人にやさしい福祉のまちづくり

- すべての町民が必要とする福祉情報を容易に入手できるよう、広報、ホームページ、福祉ガイドブックに加え、SNSやアプリなどの様々な手段で積極的に情報を発信します。
- 子育て家庭や高齢者、障がいのある人、DV被害者など、それぞれのニーズに応じた相談支援体制を構築できるよう、引き続き関係機関や関係各課と連携して取り組みます。
- 今後整備する公共施設等において、施設のバリアフリー化及びユニバーサルデザイン設備の導入を図るとともに、誰もが安心して移動・利用しやすいまちづくりを目指します。

## ③災害時などにおける助け合い体制の充実

- 八千代町地域防災計画に基づき、関係機関との連携について、具体的な行動計画やマニュアルを作成します。
- 災害ボランティアをスムーズに受け入れできるよう、災害時を想定した具体的なシミュレーションを行います。
- 災害時における助け合い意識を高めるため、防災訓練をはじめ様々なイベントの機会に、「自助」「共助」「公助」について地域住民の理解促進を図ります。



避難所の受付訓練（総合防災訓練）

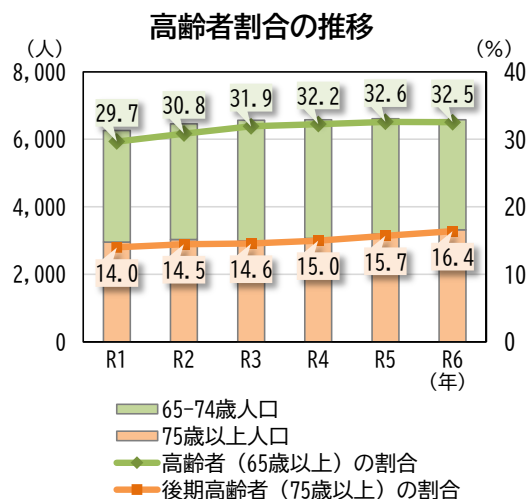
【関連計画】 ・ 八千代町地域福祉計画 ・ 八千代町地域福祉活動計画（R5～R9年度）

## 2-4 住み慣れた地域で暮らせる高齢者福祉



### 現況・課題

- 本町の65歳以上高齢者の割合（高齢化率）は、令和2年以降30%以上に達しています。このうち75歳以上の後期高齢者の割合は、近年も上昇傾向にあります。
- 本町では、医療・介護・福祉を一体的に提供する地域包括ケアの中核施設として地域包括支援センターを設置し、専門職を配置して支援に取り組んでいます。
- 今後は、地域包括ケアの理念に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、福祉が連携した取組の充実やシステムの維持を図ることが必要です。



【出典】茨城県常住人口調査（各年10月1日現在）

### 基本方針

医療・介護・福祉が連携した地域包括ケア体制を充実し、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限りいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
介護ボランティアポイント制度登録者数	31人 (R6年度)	90人 (R11年度)
自立した高齢者※の割合	85.3% (R6年度)	90.0% (R11年度)

※「自立した高齢者」：要介護認定されていない65歳以上の方

### 取組施策

#### ① 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進

- 地域の高齢者が社会的に孤立することのないよう、身近な地域における交流の場づくりや交流機会の充実を図り、高齢者同士さらには世代間での交流を促進します。
- シルバー人材センターの会員の拡大など、高齢者が技能や経験を活かして地域で活躍できる、就労機会の創出を図ります。
- 老人クラブの活動を引き続き支援し、高齢者の社会参加を促進します。
- 高齢者のコミュニティ醸成の場として、ふれあいいきいきサロンの運営支援や新設など、積極的な拡充を図ります。

- 高齢者と幼児や児童生徒などとの三世代交流事業を推進し、高齢者の持つ昔遊びの知恵や伝統芸能などの継承と、地域コミュニティの賑わい創出を図ります。

## ②保健・介護予防の一体的な推進

- 介護予防教室を拡充し、フレイル予防（健康と要介護の間にある虚弱状態）について周知を図り、町民が早期発見・予防できるよう、支援します。
- 高齢者の健康寿命の延伸を図るため、運動・栄養などの教室、健康診査といった生活習慣病の予防を強化するとともに、保健事業と介護予防を一体的に推進します。
- 高齢者自身が介護保険施設でボランティア活動を行う「介護ボランティア支援事業」を推進するとともに、介護ボランティアの育成・継承を図ります。

## ③地域におけるケア体制の充実・深化

- 高齢者の総合相談窓口として、高齢者や家族からの介護や福祉、健康や医療などの相談に応じて、適切な支援につなげるための体制の強化を図ります。
- 地域ケア体制の充実を図るため、定期的に介護支援専門員（ケアマネージャー）連絡協議会を開催し、関係機関との連携強化を図ります。
- 在宅医療・介護連携ワーキングチーム（地域ケア会議）を開催し、地域の課題解決に向けて検討を重ねながら、地域包括ケアシステムの構築を図ります。
- 民生委員と協力して、ひとり暮らしなどの見守りが必要な高齢者の把握に努め、本人の意向を確認しながら、見守りが必要な方の台帳登録を促進します。
- 認知症高齢者の行方不明等時の早期発見・保護を図るため、介護事業所等との協定締結を促進するとともに、地域包括支援センターとの連携・協力のもと、協定締結事業者に対する研修を実施し、認知症に対する理解の深化を図ります。

## ④高齢者の安全・安心な生活環境の確保

- 避難行動要支援者に対し、災害時の円滑な避難支援を図るため、個別避難計画の作成を推進するとともに、災害が起こった際の誘導について、シミュレーションを行います。
- 認知症サポーター養成講座などを通じて、住民の認知症への理解を深め、本人や家族への支援など、認知症高齢者を支える地域支援体制の構築を図るとともに、新しい認知症観の普及・啓発活動に取り組みます。
- 高齢者虐待防止や成年後見制度などに関する相談・支援を図るため、引き続き近隣自治体と連携して対応を行うとともに、制度を周知して、高齢者の尊厳ある暮らしを守ります。
- 高齢者ドライバーによる交通事故を防止し、生活面での自立を支援するため、デマンド交通の運行とともに、近隣に食料品店がない地域において、移動スーパーを実施します。

【関連計画】 ・やちよはつらつプラン（八千代町高齢者福祉計画・第9次介護保険事業計画）（R6～R8年度）

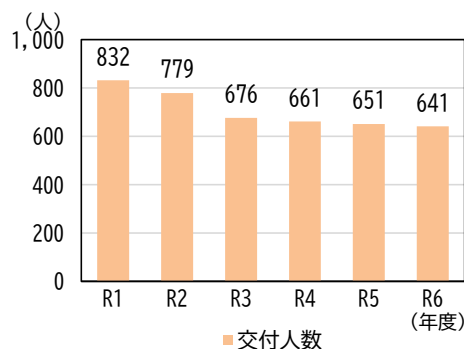
## 2-5 地域で共に生きる障がい者・障がい児福祉



### 現況・課題

- 本町では、医療・教育・雇用・施設関係者や町民等、様々な立場からの参画を得て、八千代町地域自立支援協議会で関係機関と情報交換しながら、障がい者支援の充実を図っています。
- 差別の解消と権利擁護に向けて、近隣の境町・五霞町と連携し、「境・八千代・五霞権利擁護地域連携ネットワーク協議会」を設置し、成年後見制度の周知や利用促進を図っています。
- 町民が障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会を目指し、地域支援体制の充実を図ることが必要です。

身体障がい者手帳交付状況



【出典】福祉介護課

### 基本方針

障がいのある人の地域での暮らしや経済的な自立を支援し、障がいに対する理解や権利擁護を図りながら、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付）利用者数	199人（R6年度）	288人（R11年度）
地域生活支援事業利用者数	108人（R6年度）	171人（R11年度）

### 取組施策

#### ① 地域での生活支援

- 障がいのある人が住み慣れた地域や家庭で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、個々のニーズに応じた支援サービスの充実と居場所づくりに取り組みます。
- 障がいの種別や各種ニーズに対応できるよう、相談支援事業の中立・公平性の確保や困難事例への対応などにあたる中核機関として、地域自立支援協議会の運営・強化を図ります。
- 障がいのある人への地域支援体制の充実を図るため、障がい者団体や家族会、ボランティアのニーズを把握し、活動を支援します。

- 保健所等と連携し、難病患者に対する手当の支給や相談等、難病に関する支援の充実を図ります。
- 「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの理念を踏まえ、公共施設や集客施設、公園、道路、移動・交通手段などのバリアフリー化を推進します。
- 障がいのあるすべての人が円滑に情報を取得・利用し、意思表示やコミュニケーションを行うことができるように、情報及び提供媒体の充実や意思疎通支援の充実を図ります。
- 災害時に備え、町内の福祉施設等と連携し、障がいのある人の福祉避難所への誘導や送迎など、避難支援体制の充実を図ります。

## ②雇用・就業、経済的自立の支援

- 自立支援協議会を中心に関係企業と連携しながら、各種制度を活用し、障がい者の雇用機会の拡大と就業定着を支援するとともに、一般就労が困難な方には福祉的就労の場を確保し、就労環境の充実を図ります。
- 障がいの程度や個々の生活状況を踏まえた各種手当の支給、貸付等の経済的支援により、日常生活の安定と負担の軽減を図ります。

## ③地域療育体制の充実

- 自立支援協議会を中心に、関係機関などが連携し、発達に障がいがあり支援を必要とする幼児や児童を早期に発見し、個々の状況に応じて相談できる体制づくりを進めます。
- 障がいのある子どもの将来を案じる保護者の不安を軽減できるよう、こども家庭センターと連携しながら、子ども自身や家族を支援するための取組を進めます。

## ④障がいに対する理解促進と権利擁護の推進

- 障がいのある人に対する偏見をなくし共生社会の理解を深めるために、「障害者週間」に合わせた講演会の開催など、広報・啓発活動の充実を図ります。
- 地域の人々や子どもたちが、障がいに対する理解を深められるよう、地域における自然体験活動、地域住民や小中学校の児童生徒との交流活動などを行います。
- 障がいのある人に対する虐待について、防止の啓発と発生予防を図るとともに、生活に必要な判断能力が不十分となった人の生命や財産などを保護するため、成年後見制度の周知を図り、弁護士等の専門職の意見を聴きながら制度の活用を促進します。

【関連計画】 ・ 八千代町障がい者プラン（第4期八千代町障害者計画）（R3～R8年度）  
 // （第7期八千代町障害福祉計画）（R6～R8年度）  
 // （第3期八千代町障害児福祉計画）（R6～R8年度）

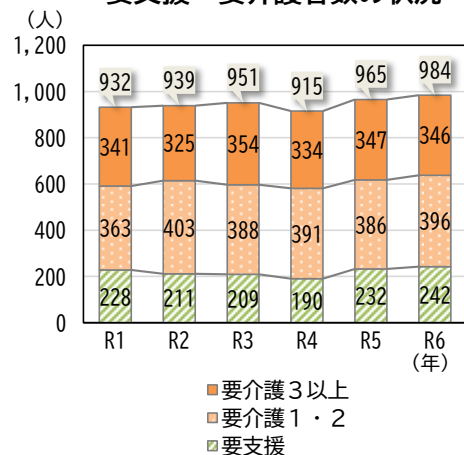
## 2-6 安定的な社会保障制度の運営



### 現況・課題

- 国民健康保険について、生活習慣病の予防やジェネリック医薬品普及促進など医療費の抑制に取り組む一方、保険料免除などの制度を適正に運営しています。
- 介護保険については、高齢化の進行に伴う要支援・要介護者数の増加に対応するため、町民のニーズの把握とともに、事業者の参入促進により必要なサービス量の確保を図っています。
- 高齢化に伴い、医療・介護・年金などの給付費が急増する中で、社会保障制度を適正に運営し、持続可能性を確保していくことが必要です。

要支援・要介護者数の状況



【出典】介護保険事業状況報告  
(各年9月末日現在)

### 基本方針

町民の健康や生活、老後を支えるため、医療・介護・年金・生活保護などに関する各種社会保障制度について、将来にわたる安定的な運営を目指します。

### 目標指標

目標項目	現況値	目標値
国民健康保険税収納率	94.7% (R6 年度)	96.0% (R11 年度)
介護保険料収納率	98.6% (R6 年度)	99.5% (R11 年度)

### 取組施策

#### ① 国民健康保険制度の適正な運営

- 生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療につなげるため、広報・啓発などにより特定健康診査や特定保健指導の受診を促進します。
- 保険の重複加入を防止するため、年金機構との情報連携などにより、資格異動情報の収集を行います。
- 医療費抑制のための啓発活動やジェネリック医薬品普及促進、レセプト（診療報酬明細書）の点検などにより、医療費の適正化を図ります。
- 口座振替の促進とともに、納付相談の充実などにより、保険税収納の確保を図ります。

## ②後期高齢者医療制度の適正な運用

- 高齢者医療の充実を図るとともに、高齢者自らの健康増進を支援します。
- 茨城県後期高齢者医療広域連合などの関係機関と連携し、広報活動や納付相談などを通じて、保険料の収納率の向上を図ります。

## ③医療費助成の充実

- 高校生までの子ども、妊産婦、母子・父子家庭や重度の障がいのある人に対して、引き続き医療費の軽減を図ります。

## ④介護保険制度の適正な運営

- 介護ニーズを把握し、事業者の参入を促しつつ必要なサービス量の確保を図るとともに、介護人材の育成・確保や介護サービスの質の向上を図ります。
- 介護保険制度を安定的に運営するため、適正な介護保険料の賦課・徴収を行うとともに、介護給付を必要とする方を適切に認定し、事業者が過不足のないサービスを提供するよう指導・監督します。

## ⑤国民年金制度の適正な運用と加入促進

- 広報紙やホームページなどでの広報・啓発活動や、窓口での相談などにより、国民年金制度に関する理解を進めるとともに、加入や保険料の納付を促進します。

## ⑥生活困窮者の自立支援

- 民生委員・児童委員をはじめ、各種関係機関との連携を強化し、生活困窮者の把握に努め、相談支援、就労支援、経済的支援など、自立に向けて適切な支援を行います。



民生委員の支援活動

【関連計画】 ・ 八千代町国民健康保険保健事業総合計画（R6～R11年度）

## 人生 100 年時代をいきいきと

平均寿命が延び、人生 100 年時代といわれるようになりました。長く生きることは喜びである一方で、健康や生活の質をどう保つかが大きな課題です。

八千代町は、豊かな自然環境と農業を基盤としたまちです。新鮮な野菜や果物に恵まれ、地元の食材を活かした食生活は健康づくりにもつながります。また、地域の人とのつながりが強く、祭りや交流活動などに参加することで、心身の活力を保つことができます。

町では、高齢化率の上昇に対応しながらも、「元気に働き続けたい」「地域に役立ちたい」と考える高齢者の就労や活動を応援しています。例えば――

- ・ 健康診断や運動教室、ウォーキング大会などの取り組み
- ・ 農業や地域産業での経験を活かせる場づくり（農業体験イベント、地元産品を支える活動など）
- ・ 地域活動や交流の場の提供

「長く生きる」から「いきいきと生きる」へ。人生 100 年時代を前向きに楽しむために、まちの自然や人のつながりを活かしながら、住民と行政が一緒になって支え合うことが大切です。皆さんも、日々の暮らしの中で「健康づくり」や「地域とのつながり」に一步踏み出してみませんか。



ヘルスアップ講習会